

全てのいのちが共生する社会の構築に向けた工程表

2011

2015

2020



2020年の目標 生物多様性の認知度向上 生物多様性の損失を止める行動の拡大	
現況の把握	
レッドデータブックの改訂検討(外来種リストの検討を含む)	海の生物、希少種の生態系を追加記載の検討
モニタリングの体制整備	仕組づくり → モニタリングの実施
情報の共有化	既存施設、活動団体等と生息情報等を共有化
生息環境の保全・再生の仕組み	
生物多様性配慮の手引策定	手引き作成 → 手引きによる配慮の実施(公共事業) 民間へ導入検討
生物多様性配慮活動の評価手法検討	評価手法検討 → 評価の実施
生物多様性推進拠点の整備	府営公園、府民の森、府立自然公園、淀川のワンド、自然海浜保全地域などを先行して指定
生物多様性の保全に資する地域指定の拡大	保安林・鳥獣保護区の拡大 府立自然公園区域の指定
天然記念物の追加指定の検討	追加指定に向け、調査検討
生息環境の保全・再生・創造	
法、条例による緑地や自然環境の保全	自然公園法、森林法、大阪府自然環境保全条例、大阪府自然海浜保全地区条例による地域の保全
藻場・自然海浜の再生	マールビーチでの覆砂実証試験 → 府民の親水性を高め、水環境を改善
大阪湾窪地の解消	埋め戻しのモニタリング → 窪地の埋め戻し 順次実施
水産資源の保護管理	遺伝子の多様性に配慮した栽培漁業、資源回復計画による水産資源の保護管理、魚礁の設置
多自然川づくり	特徴に応じた多自然川づくりを推進
生物多様性に配慮した農空間の保全と活用	生態系に配慮した、農地・農業用施設の保全と活用の推進
大規模緑地等を拠点としたエコロジカルネットワークの構築	生物多様性、みどりのネットワーク化に配慮した公園計画及び緑化の推進
森林整備の推進	人工林の適正な間伐・針広混交林化の推進
里山の保全管理の推進	新たな森づくり制度の創設 → 里山の適正な保全管理の推進
臨海部の生息環境の創造	共生の森づくりの推進
野生生物の適正な保護管理	シカ、イノシシの保護管理計画の推進
アライグマ・ブラックバス等の外来生物対策	アライグマ防除実施計画の推進、ブラックバス、ブルーギル、外来水生植物の駆除等
調査研究の推進	生態系の保全や生物多様性の増大に関する調査・試験研究等
普及・啓発	
地域のシンボリックな生物によるPR	ホームページでの情報発信
まもりたい生物100選(仮称)の府民募集	募集 → モニタリングの実施
生物と触れ合える場のPR	生物と触れ合える都市公園、府立自然公園、府民の森等の情報発信
参加・行動	
身近な生き物調査	せみの抜け殻、なぎさの染校等の充実(まもりたい生物100選との連携)
生息状況のモニタリング(再掲)	レッドデータブックによる希少種と100選の生物に対するモニタリングの実施
企業やNPO、地域等と協力した参加型プログラムの充実	共生の森づくり、泉佐野丘陵緑地整備、里山保全、棚田保全活動、アドプトフォレスト、アドプトリバー、オアシス構想の推進等
環境教育の推進	出前事業、学校ビオトープ等の設置推進